(個人用)

行政視察等報告書 (個人用)

令和6年8月1日

知立市議会議長 様

報 告 者	那須幸子
日 時	令和6年8月1日
視察(研修)場所	東京都大田区
目 的	産後・育児援助事業及び 産後ドゥーラ養成講座受講料補助事業について
【概 要】 ◆大田区産後家事・育児援助事業 ◇目的 ・家事や育児の補助支援をすることで負担軽減を図る。 ・要支援家庭への移行を未然に防ぐ。 ◇事業内容 ・にこにこサポート ・びよびよサポート ・産後ドゥーラ養成講座受講料補助 ○にこにこサポート ・事業開始 令和3年7月～ ・産後6か月以内の方が利用できる。 ・産後ケア専門員(産後ドゥーラ)が育児支援・家事支援をする。 ・支援日時 午前9時～午後9時まで ・利用料金 1時間あたり1000円	

・利用実績（令和 5 年度）

新規申請者数	785 人
延べ利用者数	806 人
延べ利用回数	1317 回
利用時間数	3190 時間

○びよびよサポート

- ・ 2 歳までの乳幼児を育児中の世帯が利用できる。
- ・ ヘルパー等を派遣し家事・育児を支援する。
- ・ 可能な時間数 年間 20 時間
- ・ 利用料金 1 時間 500 円

○産後ドゥーラ養成講座受講料補助

・ 目的

家事・育児において、サービスを提供する産後ドゥーラの担い手を育成して、区内で活動する産後ドゥーラを確保するとともに、サービスの質を向上させる。

・ 概要

東京都の「とうきょうママパパ応援事業補助金」の人材育成のメニューを利用して受講料補助を行っている。

・ 補助金額

21 万円(1 人 1 回まで)

・ 対象講座

毎会計年度において、対象の講座を区が指定する。

令和 6 年度は第 30 回養成講座、第 31 回養成講座が対象。

・ 対象上限

毎会計年度の予算額に基づいて受付人数を設定する。(先着順)

令和 6 年度予算は 546 万円。

受付人数は 26 人

・ 事業開始 令和 5 年 4 月～

・ 利用実績(令和 5 年度)

交付利用登録 29 人

助成金交付決定 15 人

【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

近年、晩婚化により高齢出産が増加しており出産後に両親を頼れず、母親の孤立が問題になっております。産後直後の母親の不安を取り除く事は大変重要で、産後うつ防止や児童虐待防止につながります。

大田区では、産後間もない時期の産婦の自宅に産後ドゥーラを派遣し、母親の心身の不調や育児不安・孤立感を軽減し家事・育児を支援する事業を行っています。「助けられた」との多くの利用者からの声があると伺い、知立市にもこの事業の必要性を強く感じました。

また、産後ドゥーラ養成講座受講料補助の事業についても、東京都の人材育成メニューを利用し、産後ドゥーラの担い手を育成しながら大田区内で活動する産後ドゥーラを確保していることを学び、大変重要な取り組みであると感じました。

私自身これまで産後うつ防止、児童虐待防止につながる産後ドゥーラのサポート導入の必要性について、一般質問でも取り上げてまいりました。

「妊娠からの切れ目ない支援」に繋がっていく産後ドゥーラを知立市の子育て支援策に盛り込まれることをさらに要望してまいります。

又知立市においても、県の事業の補助金を利用し、産後ドゥーラの育成に取り組むことで、安心・安全な妊娠、出産の支援がおこなえるよう、産後ドゥーラ養成講座受講料補助の実施を強く要望してまいります。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。